

2023年度同志社大学大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト
支援対象学生（欠員補充）（3年次）2次募集 募集要項

2021年度秋から大学院博士後期課程及び一貫制博士課程の学生のための新たな支援プロジェクトが開始されました。このプロジェクトにおいて、支援対象学生に採用された皆さんには、**研究奨励費（生活費相当額）と研究費の支援**が受けられます。

支援対象学生は、研究に対する意欲を有し続け、将来の我が国の科学技術・イノベーション創出の担い手となることが期待されています。一方、同志社大学は、科学技術・イノベーション創出に対して、文理を融合する視点を重視し、ダイバーシティ、多文化共生や環境等の社会課題をテーマとする教育・研究活動を推進しています。支援対象学生に採用された皆さんには、これら社会課題と自身の研究の接点を考えることによって、キャリアパスの幅が広がることを期待しています。

支援対象学生は、**自ら企画・立案する海外活動（インターンシップ、留学、研究交流、フィールドリサーチ）**を行うことが求められており、所定の渡航費等の支援が受けられます（海外渡航が困難な場合は、代替する活動を行っていただきます）。

また、支援対象学生を対象として公募する挑戦的・融合的研究課題に対して研究費の増額を行います。

この度、次世代研究者挑戦的研究プロジェクト支援対象学生の定員に欠員が生じたことから、支給対象学生を追加募集します。

2023年4月に本学博士後期課程3年次へ進学予定の方、一貫制博士課程5年次生となる予定の方が応募できます。すべての研究科が対象です。

募集期間 2023年3月3日（金）～3月14日（火）12時（日本時間）【締切厳守】

1. 目的

同志社大学大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト（以下「本プロジェクト」という。）において、本学は、本学が理念として掲げる、高い学術研究力による深い学識と卓越した実践能力を用いて時代を切り拓き、異なる価値観・世界観を持つ他者や異文化の理解のもとに協働できる真の国際人の養成に向け、人文・社会・自然科学の相互理解力を涵養し、グローバルな視点で将来の社会課題を予測しながら解決する研究者の養成を目指します。

2. 内容

本学は、国立研究開発法人科学技術振興機構の「次世代研究者挑戦的研究プログラム」（以下「本事業」という。）として実施される本プロジェクトを通じて、自由で挑戦的・融合的な研究に意欲的に取り組む大学院博士課程学生に対し、研究活動に専念して研究力の向上を図ることができる環境（「6. 研究奨励費等」を参照）を整備するとともに、キャリアパスの確保に向けた各種プログラムを一体的に実施します。

本募集は、本プロジェクトによる支援対象者を選考するために行うものであり、支援の対象とする者は、研究科や研究室など既存の枠組みを越えて、社会課題への挑戦、新たな領域の開拓、世界に股をかける実践を目指そうとする、これからの時代を切り拓きたいと強く希望する博士後期課程学生とします。

なお、本プロジェクトに採用された者（以下「支援対象学生」という。）には、研究力の向上に邁進するとともに、本学が提供するキャリアパスの確保に向けた各種プログラムを計画的に受講、実践し、自立的なキャリア形成に取り組むことを求めます。

3. 対象

応募資格を満たす博士後期課程又は一貫制博士課程（3年次以上）在学者であり、既存の枠組

みを越えて、社会課題への挑戦、新たな領域の開拓、世界に股をかける実践を目指そうとする意欲的な者。所属研究科や研究分野は問いません。

4. 採用人数

2023年度3年次生、一貫制博士課程5年次生（2023年4月1日支援開始分）：若干名

*2023年度中に支援対象学生に欠員が生じる場合は、今回の審査結果を踏まえて、追加採用する場合がある。その場合、今回の審査結果を踏まえた追加採用を行うに際し、支援開始時点で休学している者は、追加採用の対象としない。

5. 採用期間

標準修業年限*、かつ2023年4月1日～2026年3月31日までの3年間とします。

*本公募で採用された方は、標準修業年限からすでに在学した期間を差し引いた残りの期間が採用期間となります。長期履修制度を利用している場合であっても、標準修業年限を超える期間は支援対象となりません。

6. 研究奨励費等

支援対象学生には、採用期間中、研究奨励費：180万円（年額）と研究費：40万円（年額）を支給します。

- ※ 研究奨励費は、雑所得として課税対象となるため、各自で確定申告等の手続きが必要となります。
- ※ 研究奨励費は、上記の年額を月割計算した金額を支援期間の終了日の属する月まで毎月支給します。
- ※ 研究費は、本学において執行管理します。
- ※ 研究費は、本プロジェクトにおける公募研究や海外活動のために増額されることがあります。

7. 応募資格

以下の要件を満たす者とします。

2023年4月1日現在、大学院博士課程に在学し、次のいずれかに該当する者（外国人も含む）

[3年次生欠員補充にかかる応募要件]

- ① 区分制の博士課程後期第3年次相当（在学月数24ヶ月以上36ヶ月未満）に在学する者
- ② 一貫制の博士課程第5年次相当（在学月数48ヶ月以上60ヶ月未満）に在学する者

■ なお、支援開始時点で休学している場合は、欠員補充の対象にならない。

ただし、2023年4月1日以降に次のいずれかの身分等を有する（見込みの）者は除きます。

- (1) 独立行政法人日本学術振興会特別研究員
- (2) 国費外国人留学生等制度による支援を受ける留学生
- (3) 本国からの奨学金等の支援を受ける留学生
- (4) 研究専念義務が生じるその他奨学金、奨励金受給者
- (5) 所属機関から生活費相当額として年間240万円を超える給与、役員報酬又はその他の安定的な収入を得ている者
- (6) その他本事業の支援対象外となる者

* 資格確認のために、収入に関する証明書類等の提出を求めることがあります。

8. 義務

支援対象学生は、次に掲げるすべての事項を行わなければなりません。

- (1) 同志社大学研究倫理規準を遵守すること。

- (2) 同志社大学における研究活動上の不正行為への対応に関する規程に定める責務を果たすこと。
- (3) 本学及び科学技術振興機構が指定する研究倫理教育を履修すること。
- (4) 事業統括が指定するキャリア形成ガイダンス、企業交流会等のキャリア形成支援プログラムに参加すること。
- (5) 高等研究教育院のアドバンスト・リベラルアーツ科目群に設置するキャリア形成支援科目のうち事業統括が指定する科目を履修すること。
- (6) 支援対象学生が計画し、事業統括が承認した海外活動を行うこと。
- (7) 科学技術振興機構が本事業のために実施する学生交流会等の諸行事に参加すること。
- (8) 科学技術振興機構及び本学が実施する各種調査に協力すること。
- (9) 学会等への参加、論文の投稿、口頭発表及び研究論文のセルフアーカイブを積極的に行うこと。
- (10) 活動報告書を事業統括に毎年度提出すること。
- (11) 文部科学省科学技術・学術政策研究所（NISTEP）の博士人材データベース（JGRAD）（以下「JGRAD」という。）に登録すること。

支援対象学生は、本プロジェクトによる支援終了後も次のことをしなければなりません。

- (1) 本学及び科学技術振興機構が実施する博士課程修了後の追跡調査に協力すること。
- (2) JGRAD の情報を逐次更新すること。

9. 奨学金等との併給

次の給付制奨学金との併給を認めます。

- (1) 同志社大学大学院博士後期課程若手研究者育成奨学金
- (2) 同志社大学大学院奨学金
- (3) 同志社大学寄付奨学金
- (4) 同志社大学大学院脳科学研究科特別奨学金
- (5) 同志社大学大学院私費外国人留学生授業料減免特別奨学金
- (6) 同志社大学私費外国人留学生授業料減免奨学金
- (7) 同志社大学私費外国人留生成績優秀者授業料減免奨学金
- (8) 独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)奨学金
- (9) その他学費への充当を前提とする奨学金

10. 採用取消等

- (1) 次世代研究者挑戦的研究プロジェクト期間中に日本学術振興会特別研究員に採用された場合は、支援対象学生の採用を辞退いただくことになります。
- (2) 休学した場合、休学期間の研究奨励費等の支給を停止します。
- (3) 研究活動の進捗状況や8.の履行状況が、支援対象学生としてふさわしくないと判断された場合は、研究奨励費及び研究費の支給を停止し、採用を取り消すことがあります。
- (4) 支援対象学生が同志社大学学生の懲戒に関する規程により懲戒の処分を受けた場合等には、採用を取り消し、研究奨励費及び研究費の全部又は一部を返還いただくことがあります。
- (5) 研究活動上の不正行為への対応に関する規程第34条の適用を受けた場合は、既に支給した研究奨励費及び研究費の全部又は一部を返還いただくことがあります。
- (6) 退学等により本学の学籍を失った場合、研究奨励費等の支給を終了します。

11. 申請手続き

- (1) 募集期間 2023年3月3日（金）～3月14日（火）12時（日本時間）【**締切厳守**】
- (2) 申請書類

○申請書（所定フォーム（Microsoft Forms）への入力）

○志望理由及び研究計画書（所定様式）※本文は10.5ポイントで記載すること。

記載事項：

- ・【志望理由】（本プロジェクトは、既存の枠組みにとらわれない自由で挑戦的・融合的な研

究を支援することを目的としています。自身が目指す研究者像を明確にし、それに向けて本プロジェクトをどの様に活かすのか、どの様に取り組むのか、といった視点から志望理由について簡潔に記入してください。)

- ・【海外活動計画】(本プロジェクトでは、研究者としての挑戦性、自立精神を醸成することを目的として、自らの研究課題を海外でどのように発展させるかという海外活動計画を提案していただきます。自身の研究が国際的な研究動向において、どの様な位置付けなのか、その上で自らの研究を発展させるために、どの様な国際的な活動を行っていくかについて具体的に記入してください。)
- ・【研究計画】
 - ①これまでの研究状況、自身に取り組む研究の位置づけ、当該分野の状況や課題等の背景について記入してください。
 - ②研究計画における研究目的、研究方法、研究内容(支給される研究費をどの様に利用し、研究の発展を図るのか)について記入してください。
 - ③研究の特色・独創的な点(先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等)にも触れて記入してください。
 - ④社会課題を解決するアプローチについての構想:社会課題を解決する上で、自己の研究がどの様に活かせるのかについて記入してください。

1 2. 選考基準

- (1) 研究者としての素養を有し、明確なビジョンを有すること。
- (2) 研究計画、研究内容が具体的であり妥当性が高く、発展性があること。
- (3) 研究者として明確なキャリアパス計画(海外活動を含む)があること。

1 3. 選考方法等

申請書類による書面審査により、支援対象学生を選考します。

なお、支援対象学生については、本学ホームページにて公表いたします。

1 4. 採用決定通知日

応募者には採否の結果を2023年3月28日頃にE-Mailでお知らせします。

1 5. 提出方法

以下の所定フォーム(Microsoft Forms)から電子申請を行ってください。所定フォームへ必要事項を入力し、PDFファイルに変換した「志望理由及び研究計画書」をアップロードの上、送信してください。なお、所定フォームへのアクセス時に、大学付与のメールアドレスでログインする必要があります。

また、「志望理由及び研究計画書」のファイル容量は10MB以内とし、ファイル名は「研究科名_応募者氏名.pdf」としてください。

(例:神学研究科_同志社太郎.pdf)

申請書類提出はこちらから
(QRコードからもアクセス可能です)

⇒ [《申請書類提出 所定フォーム》](#)



*同志社大学のユーザIDをお持ちでない場合には、17.の問合せ先にその旨ご連絡ください。

16. 公募内容説明資料

リンク先：https://kikou.doshisha.ac.jp/inside/wakate/sprig/spring_members.html

17. 問合せ先

京田辺校地ローム記念館2階 同志社大学大学院博士後期課程 次世代研究者挑戦的研究プロジェクト (SPRING) 運営事務局 (研究開発推進機構研究企画課)

TEL：0774-65-8257 FAX：0774-65-7757 E-Mail：dfs-spring@mail.doshisha.ac.jp

18. その他

- ・本プロジェクトの支援対象学生に採用された場合は、支援対象学生として氏名・研究分野・研究テーマ等を公表します。また、研究成果や活動状況の公表に積極的に協力していただくことが期待されています。

以上

～事業統括からのメッセージ～

現在の社会が抱える諸問題は多様化し、様々な要素や背景が絡み合い、特に近年は複雑さが増しています。このような社会問題は、一つの専門分野の知識で解決できるものではなく、様々な分野の知識を融合して対応していかなければなりません。

本プロジェクトでは、社会課題への挑戦者、新たな領域の開拓者、世界に股をかける実践者を目指そうとする、これからの時代を切り拓きたいと希望する博士後期課程学生に対して、その実現の手助けとなる支援をしっかりと行います。

あなたが将来を見据えたときに、少しでも挑戦したいという思いがあれば、その気持ちに本プロジェクトの支援にて応えます。

来れ、同志社大学大学院博士後期課程！

叩け、その扉を！

みなさんからの多数のご応募をお待ちしています。



同志社大学大学院博士後期課程
次世代研究者挑戦的研究プロジェクト
事業統括
理工学部／理工学研究科教授 塚越一彦
(副学長、研究開発推進機構長、
脳科学研究科長)

2023年度同志社大学大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト 支援対象学生 (欠員補充) (3年次生) 2次募集 選考日程

2023年3月3日 (金) ～3月14日 (火) 12時【締切厳守】 募集期間

2023年3月中旬 ～ 3月下旬

書類審査期間

2023年3月下旬

結果通知

(別紙)

同志社大学大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト支援対象学生に 義務付けるキャリア形成科目の履修及び海外活動並びに奨励する諸活動について

大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト
事業統括 塚越 一彦

同志社大学大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト（以下「次世代挑戦PJ」）に採用された学生には、社会の一員として、自身の研究の社会との接点を考察し、研究成果を社会に還元していくために、挑戦的、融合的に研究を遂行する能力を身につけることが求められています。

同志社大学大学院には、多文化共生（GRM）、Society 5.0（Comm 5.0）や環境（「次の環境」協創）等の人類共通の重要課題をテーマにする教育プログラムがあり、2021年度には大学院における共通教育として、アドバンスト・リベラルアーツ科目群（ALA 科目群）を開設し、先端科学技術や社会政策、経済政策に限らず、身体・生命、地理、地政、歴史、文化、宗教、文学などの多様な知恵を糾合した文理融合教育を推し進めています。

次世代挑戦PJに採用された皆さんには、自身の研究を社会、世界の変化に対応させていく知識・技術の幅を広げ、グローバルに他者と協創し、社会課題について課題解決に向けたアイデアを提案・実現できる研究者として、キャリアを形成していただくことを願っています。

1. 他者と共創する科目

【登録履修を義務】

高等研究教育院（以下「高等院」）のALA 科目群の「フューチャーデザイン演習」履修すること。

【登録履修を推奨】

Capacity Development for Coexistence and Cooperative Works もしくは、Group Work Practice I (Multi-perspective approach on complex problems)、セルフアウェアネス（コーチング入門）の登録履修を推奨する。

2. 知識・技術の幅を広げる科目

高等院のALA 科目群（「次の環境」協創科目を含む。）、GRM科目、Comm 5.0 科目の登録履修を奨励する。

各プログラムに設置する科目を体系的に履修し、プログラムの修了を目指すことを推奨する。

3. 科目履修以外のキャリア形成プログラムへの参加

研究開発推進機構が提供するキャリア形成プログラム（論文作成、プレゼン力向上、外部資金獲得等にかかる研修、企業交流・研究発表会等）に積極的に参加すること。

また、自分自身のキャリアパスを明確にする過程において、博士前期（修士）課程学生のキャリア支援や大学院共通科目の運営に積極的に関わることを推奨する。

4. 海外活動の義務（国際性の涵養）

自ら企画・立案する海外活動（インターンシップ、留学、研究交流、フィールドリサーチ）を行い、国際性を高めること。

5. 協創性、実践力の涵養

協創性を培い、実践力を身に付ける場として、研究インターンシップ等に参加することを奨励します。

6. 科学技術振興機構が主催する行事への参加

「次世代研究者挑戦的研究プログラム」に参加する博士後期課程学生が、大学横断的に交流

(別紙)

を行う交流会（1泊2日程度）の開催が予定されています。他大学の学生との交流を通じ、学生同士の相互触発やネットワークづくりが期待されています。

7. その他

高等院に設置する科目（ALA 科目群、GRM 科目、Comm 5.0 科目）についての情報はプログラム履修要項やホームページで確認して下さい。

HP : <https://next.doshisha.ac.jp/>

科目登録等の手続きの詳細は、採択者に別途案内します。

科目履修に係る交通費等の費用は、自己負担とします。

以 上

【高等研究教育院の科目履修に関する問合せ先】

同志社大学高等研究教育院事務室

075-251-3259

ji-ktken@mail.doshisha.ac.jp